

第3学年 国語科学習指導案

- 1 単元名・教材名 進行を考えながら話し合おう
「つたえよう、楽しい学校生活 ～ハッピー発表会を開こう～」

2 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童の実態

本学級の児童は、読書や漢字練習に意欲的であり、全体として国語科への興味・関心が高い。また、書く能力を高めるため、朝の活動に行っている基礎・基本の時間の作文に加え、「3分振り返り」に取り組んでいる

一人一人で行き届いた活動に関しては、主体的に取り組む様子が少しずつ見られるようになってきたが、班で話し合ったり、自分の考えを発表する活動になると、他の班員に頼ったり、何を発表すべきか話の中心が定まらなかつたりしてしまうことがある。

国語の学習ではこれまでに、二年下「みんなできめよう」で、決まっている議題を基に話し方や聞き方等基本的な話合いの仕方を学び、三年上「よい聞き手になろう」で、相手にきちんと内容を伝えるために気を付けることやこそあど言葉、話の中心を落とさず聞くこと等を学んできた。

本単元で、小集団における互いの意見の共通点や相違点を考えながら話し合うことを学び、四年上「よりよい話し合いをしよう」で学ぶ学級全体での話合いにつなげていきたい。

さらに児童の実態を把握するために、以下のようなアンケート調査を行った。

(一部省略)

本単元では、話合いの基本的な流れに沿って話し合うことから始め、自分の考えを話すことが苦手な児童も安心して授業に参加できるようにしていく。そうすることで、友だちと意見を交わすことよさや、みんなの前で発表することの達成感や充実感を味わわせていきたい。

(2) 本単元の意図

本単元は、小学校学習指導要領国語科第3学年及び第4学年の内容（A話すこと・聞くこと）のア「関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること」、イ「相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと」、ウ「相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと」、オ「互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと」を受けて設定してある。

単元を貫く言語活動として、「お互いの意見を考えながら話し合い、ハッピー発表会を開こう」と設定した。毎年11月に行なわれる学校公開日に合わせ、保護者の方に

自分たちの学校生活を伝える学習を行う。

本単元は、学校生活の中から学校行事や場所など紹介したいことを決め、そのことについて話し合ったり、インタビューをしたりして内容を深め、発表会をするという学習である。発表する内容や方法を決めるために、グループ（紹介したいものが同じ人同士）による話し合いの場を設け、発表する内容や方法について決めていく。その際、司会や提案の役割を理解し、進行に沿って話し合うことで、それぞれの意見が整理された話し合いができる。また、相手意識・目的意識を明確化することで、児童が主体的に話し合いに参加できる単元設定になっている。

これらの活動を通し、自分の考えを簡潔に伝え、理由について筋道を立てて説明する力や、お互いの意見の共通点や相違点を考えながら話し合う力を身に付けさせたい。

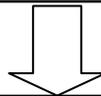
3 単元の目標

- (1) 進んで話し合いや発表を行おうとしている。 (関心・意欲・態度)
- (2) 学校生活の中から話題を決め、必要な事柄について調べたり、インタビューで聞いたりすることができる。 (話すこと・聞くこと)
- (3) 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うことができる。 (話すこと・聞くこと)
- (4) 内容のまとまりや話の構成を意識し、言葉の強弱や抑揚、視線、間の取り方などを工夫して話すことができる。 (話すこと・聞くこと)
- (3) 意見や理由を述べる際に用いる言葉を知り、言葉には考えを伝える働きがあることに気付いている。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 指導観

研究テーマとのかかわり

人とのかかわりを大切にし、共によりよく生きようとする児童の育成
～国語を適切に表現し正確に理解する力を育成し、伝え合う力を高める指導法の工夫～



目指す児童像 基礎・基本の知識や技能を活用して自分の考えを表現できる子

中 学 年 相手意識をもって、自分の伝えたいことを筋道を立てて話したり書いたりできる子

国語科では「国語を適切に表現し正確に理解する力」を育成し、思考力・判断力・表現力の向上を目指す。そこで培った力を発揮できるような場を意識的に設定し、実践することで「伝え合う力」を高めていきたい。そのためには授業の改善が必要である。上記のテーマを具現化するために、本校では次のような仮説を立てた。

仮説

国語科において、課題解決的な単元を貫く言語活動を設定し、学年の実態に応じて取り上げる言語活動を工夫した指導と評価をすることで、国語を適切に表現し正確に理解する力を育成し、伝え合う力を高めることができるであろう。

さらに、国語科で培った言語の力を児童に自覚させることで、他教科や日常生活でも活用できる力につなげることができるであろう。

本単元では、この仮説に迫るために次のような手立てを考えた。

《手立て》

①課題解決的な単元を貫く言語活動の設定

単元を貫く言語活動として、「お互いの意見を考えながら話し合い、ハッピー発表会を開こう」と設定した。はじめに学習する意義を明確化することで、単元を見通して目的意識をもつことができるようにする。

②話し合いの進め方の型作り

低学年の「互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。」の指導事項を受けて、話し合いが目的に応じて的確に進行できるように、司会や提案等の役割を理解し、協力して話し合うことができるようにする必要がある。そのために、まず各班に1つ進行表を用意し、その流れに沿って話し合うことができるようにする。また、併せて話型をいくつか示し、司会をする人だけに頼って話し合いが進行しないようにしたり、互いの意見の共通点や相違点を整理できるようにしたりする。さらに、例として随時モデリングの班を全体に広め、話し合いの進め方を具体的に捉えられるようにする。

本単元で学習した内容を、他教科や学級会とも関連付け、話し合いの進め方の定着を図る。

③見通しと振り返りを位置づけた授業の展開

児童とともに立てた単元計画を基に、毎時間振り返りを行う。振り返りは、各自学んだことをワークシートにまとめ、その後学級としての振り返りを短冊にまとめる。短冊の掲示をつなげていき、単元の見通しをもつとともに、各時間に学んだことを視覚化することで、既習事項を次の学習に生かせるようにする。最後に、短冊に書いてきたものを「スリーピース会議〇か条」のように、話し合いの要点をまとめることで、本単元の学習だけにとどまらず、普段から意識できるようにしていく。

④思考ツールの活用

グループで集まった意見を整理・選択する時に、意見を視覚的にとらえ、それぞれの考えを共有できるように、付箋と思考ツール（ダイヤモンドランキング）を活用する。ランキング化することで、整理・選択の視点がより明確になり、話し合いが活発に行われるようにする。また、整理をする時に同じ意見や異なる意見の付箋をまとめるとより分かりやすくなることを、話し合いをする中で気付けるようにする。

⑤主体的に学ぶための工夫

保護者に紹介したいことを発表するために何が必要か（インタビュー、発表リハーサル等）を学級で決め、単元計画を児童とともに立てることで、主体的に学習できるようにする。

また、発表グループは、全員が主体的に話し合いができるように、1グループ3～4人とする。また、紹介したいことを各自決定し、同じ人同士でグルーピングすることで、話し合いやインタビューに意欲をもって参加できると考える。

話し合いの際は、挙手をしてから発言するだけでなく、順番に意見を発言していく方法を示し、発言する児童の偏りを小さくするとともに、様々な意見を取り入れることを意識させる。そのために、話し合いの前には意見を整理し、ワークシートに書く時間を設け、どの児童も安心して発言できるようにする。

5 単元の評価規準や学習活動に即した評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話すこと・聞くこと	オ 言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで話し合いや発表を行おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中から話題を決め、必要な事柄について調べたり、インタビューで聞いたりしている。 ・互いの意見の共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合っている。 ・内容のまとまりや話の構成を意識し、言葉の強弱や抑揚、視線、間の取り方などを工夫して話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見や理由を述べる際に用いる言葉を知り、言葉には考えを伝える働きがあることに気付いている。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①学習の見通しをもち、発表会に向けて進んで話し合っている。 ②発表会を振り返り、お互いのよかったところを進んで発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進行表に沿って話し合ったり、互いの意見を考えながら紹介したいことについてグループで話し合ったりしている。 ②インタビューしたい内容をグループで話し合い、実際にインタビューをしている。 ③インタビューした内容を基に、紹介したいことを整理し、発表の組み立てや分担等について話し合っている。 ④紹介するとき気を付けることを考えながら、ペアのグループごとに見合い、助言し合っている。 ⑤相手意識・目的意識を考え、分かりやすい発表になるように話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①相手意識・目的意識を考えながら自分の考えを整理し、話し合いの要点を理解している。 ②インタビューの方法を知り、良さを理解している。

6 指導と評価の計画（全15時間）

時	主な学習活動	学習内容	評価規準・評価の方法
1	<p>○学校生活を振り返って、楽しかったことを発表し合う。</p> <p>○単元のめあてを確認し、紹介するためにはどのような活動が必要かを話し合い、学習の見通しをもつ。</p>	<p>・学校生活の振り返り</p> <p>・学習課題の設定（目的・相手）</p> <p>・学習計画の立て方</p>	アの① (観察・発言)
2	<p>○紹介したいことを決め、その理由を書く。</p> <p>○紹介したいことが同じ人同士でグルーピングをする。</p>	<p>・立場の決定、理由</p>	アの① (観察・ワークシート)
3	<p>○どんなことを説明したいか自分の考えを整理する。</p> <p>○教科書P.110、P.111を読み、話合いのイメージをもつとともに、よいところを発表し合う。</p> <p>○話し合うときに大切なことを確認する。</p> <p>○話合いの進め方（進行表、話型）を理解する（司会あり）。</p>	<p>・自分の意見の整理</p> <p>・話合いの進め方</p> <p>・話合いの進め方</p> <p>・話合いの工夫</p>	オの① (観察・発言・ワークシート)
4 ・ ⑤ 本 時	<p>○前時を振り返り、話合いの進め方を確認する。</p> <p>○司会をたて、紹介したいことについて意見を出し合う。</p> <p>○集まった意見を整理・選択する。</p>	<p>・話合いの進め方</p> <p>・整理・選択の仕方（意見の共通点、相違点を基に）</p>	イの① (観察・発言・ワークシート)
6	<p>○教科書付録のCDを聞き、インタビューの仕方を知る。</p> <p>○インタビューの相手と内容をグループで話し合って考える。</p>	<p>・インタビューの仕方</p> <p>・インタビューの内容</p>	オの② (観察・発言)
7 ・ 8	<p>○インタビューの手順を振り返る。</p> <p>○メモを作り、インタビューの練習をする。</p>	<p>・インタビューの仕方</p>	イの② (観察・発言・ワークシート)

	○インタビューをする。 ○インタビューをして分かったことをまとめ、振り返る。	・インタビューの振り返り	
9 ・ 10	○グループで集めた情報を整理し、話し合う。 ○発表の組み立てに基づいて、分担と時間配分を決める。 ○発表メモの書き方を確認し、作成する。	・情報の整理の仕方 ・発表メモの準備	イの③ (観察・発言・ワークシート)
11 ・ 12	○分かりやすい発表になるように、紹介するとき気をつけることを確認する。 ○発表メモを基に、発表練習をする。(個人→グループ) ○グループでペアになり、お互いを見合い、助言し合う。 ○助言を生かしながら、発表練習をする。	・発表の仕方 ・助言の仕方	イの④ (観察・発言)
13 ・ 14	○発表で気を付けることを確認する。 ○リハーサルを行う。	・要点の整理	イの⑤ (観察・発言)
～ハッピー発表会～			
15	○ハッピー発表会を振り返り、お互いのよかったところを発表し、学んだことを確認する。	・学習した内容(できるようになったこと)の確認	アの② (観察・発言)

7 本時の学習指導(本時 5/15時)

(1) 目標

- ・互いの考えの共通点や相違点を考え、進行に沿って話し合うことができる。
(話すこと・聞くこと)

(2) 評価規準

イ 聞くこと・話すこと
・進行に沿って、互いの意見を考えながら紹介したいことについてグループで話し合っている。

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導（・）と評価の創意工夫（◇）  主体性を引き出す対話的な学習  書く力の向上を図るための言語活動	時間
1 教科書P.6「いつも気をつけよう」を音読する。	・既習事項の音読	・既習事項の音読をすることで、新しい学習へのスイッチを入れる。	1分
2 本時の課題をつかむ。	・学習の見通し ・本時の学習内容とめあて		1分
グループで話し合い、発表する内容を選ぼう。			
3 思考ツールの使い方を理解する。	・思考ツール（ダイヤモンドランキング）の使い方	・モデリングの班で、前時に学んだ話し合うときに気を付けることを確認し、思考ツールを使った話し合いの仕方を指導する。	5分
4 話し合いの視点を明確にする。	・話し合いの視点 お家の人に伝える 4分で発表（1人1分） みんなにあてはまること	・視点を明確にし、黒板に掲示しておくことで、相手意識・目的意識を高める。また、思考ツールを使って話し合うとき、どの意見がより発表会にふさわしいか判断できるようにする。	5分
5 グループごとに話し合い、意見の整理・選択をする。	・よりよい話し合いの仕方	 より相手・目的に合う意見について話し合い、選ぶ。 ・司会をたてずに、意見の整理・選択において一人の考えに偏らないようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>評価場面</p> <p>〈具体の評価規準〉イの①</p> <p>〈評価方法〉 観察や発言の内容、ワークシート</p> <p>〈手立て〉 ◇話し合う中で、同じ意見や違う意見を明らかにするために、付箋をまとめたり、ボードに言葉を付け加えたりできるように助言をする。</p> </div>	20分

<p>6 話し合う様子の写真を見せ、まとめ方でよかったところを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の整理の仕方 	<p>◇タブレットを使い、本時で話し合っている写真の中から、付箋をまとめている写真を見せ、相手意識・目的意識に合わせて意見を整理・選択するために必要なことに気付かせる。</p>	<p>5分</p>
<p>7 短冊にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合うときの要点 (スリーピース会議〇か条) 		<p>3分</p>
<p>8 本時の学習を振り返り、まとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の確認 	<p> グループでの話し合いを基に、新しく学んだことをワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時のインタビューへの意欲を高める。 	<p>5分</p>

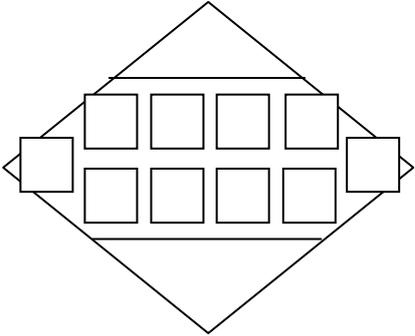
8 板書計画

かんな月十二日

つたえよう、楽しい学校生活

めあて
グループで話し合い、発表する内ようをえらぼう。

ダイヤモンドランキング



・発表する内よう
にえらんだ
ふせんを上
動かす。

ここに気をつけて話し合おう！

- ・おうちの人につたえる内よう
- ・発表時間は四分（一人一分）
- ・みんなにあてはまること

ふりかえり
同じ意見は、まとめておくと整理しやすい。